

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興				
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興				
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属 農業農村支援センター等
事業名	～日本なし産地再生プロジェクト活動～ 「日本なしを使用した菓子等商品化プロジェクト」と「卸売市場への日本なしのトップセールスと新品种お披露目会」			電話	8-236-2481
				E-mail	minami-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	産地再生に取組む日本なしを活用したお菓子やスイーツなどで地域の新たな商品化を図り、加工商品を通じて地域特産果樹である日本なしの魅力を消費者に発信し地域で共有する。 また、プロジェクトの取組課題の1つである「販売戦略」のため、東京・大阪の卸売市場に本県育成品種である「南水」のトップセールスと新品种「南農ナシ6号(天空のしずく)」のお披露目会を開催し、市場の関心を高めスムーズな販売につなげていく。			
	現状と課題	当地域は古くから県下有数の日本なし産地だったが、H29からR3にかけて生産量は23%減の7,421tで、R8には4割減の4,324tと推計される。一方、全国の小売単価は220円あたりおおよそ870円/kgとなっている。このことから、果樹農家の所得向上には重要な品目になると考えられ、生産者、農協、行政機関等が一体となったプロジェクトを設立し、日本なしの産地再生を目指す取組を令和4年度から始めた。 地域住民へ効果的に本プロジェクトを情報発信し、生産者及び農業関係団体、行政機関だけではなく、消費者の立場で地域住民にも産地を応援してもらうことが産地継続に向けて課題となっていたことから、プロジェクトの一つとして日本なし商品キャンペーンを実施し、製菓業者や飲食店とともに商品化等に取り組む事とした。 昨年の8月から製菓業者等(7事業者)と商品化に取り組み、本年度から販売開始される商品も含めて10品を報道機関に向けてお披露目会を開催した。(R4.10.26) さらに、令和5年3月には地域振興推進費を活用し、統一ロゴデザインやのぼり旗、日本なしが食べられるお店を掲載したマップのデザイン製作を行い、それらをもとに参加店舗を募ってきた。(13店舗) このことが新聞等で報道されたことで、販売を開始した菓子店では記事を見て来店客が訪れ、なかには贈答向けの注文もあるなど店が予想していたより購入があった。 菓子店から新品种「南農ナシ6号(天空のしずく)」が欲しいと言われることがあり、新品种への期待が高いことがうかがえる。 昨年度、生産者への新品种お披露目会を開催し概ね好評であったことから、JAみなみ信州において現在の品種構成に加えることを決定したところである。今後、生産者への作付け誘導を図るほか、取引先の卸売市場に認知してもらい、将来的にスムーズな販売につなげていくよう戦略が必要である。 また、昨年度に製作したのぼり旗を農産物直売所や道の駅、JA選果場の設置の他、トップセールスと新品种お披露目会で掲げるため、のぼり旗を追加製作する。			
	内容 (変更後の内容)	本年度は、マップの印刷製本とキャンペーンを周知するポスターを作成し、8月から10月の日本なしの収穫時期にあわせて実施する商品キャンペーンを地域住民等に広く情報発信し、生産者及び地域住民の産地一体感を醸成する。 1 企画 別紙のとおり 2 期間 8月15日～10月31日 3 内容 期間内、参加店舗は統一ののぼり旗とポスターを掲示し、また、マップは参加店舗の他、市町村、観光案内所等へマップ、ポスターを設置し幅広く情報発信を行う。 【市場への日本なし(南水)のトップセールスと新品种のお披露目会の開催】 プロジェクトの取組課題である「販売戦略」について、構成員であるJAみなみ信州において、日本なし(南水)の販売促進のため、東京と大阪の卸売市場及び買参人へトップセールスを実施する予定である。この機会を捉え、本県育成品種である新品种「南農ナシ6号(天空のしずく)」のお披露目会及び試食とアンケート調査を行い、地域への新品种導入の参考とする。日本なし(南水)のトップセールスを市場関係者に強く発信し、また、新品种の認知と地域をあげ取り組んでいるプロジェクト活動を広く周知するため本県職員も同行し実施する。 【東京】 1 期日 令和5年9月11日(月) 午前6時～11時 2 場所 東京中央卸売市場 3 内容 (1) 南水トップセールス (2) 南農ナシ6号お披露目会 (3) 南信州日本なし産地再生プロジェクト概要説明 4 県職員 2人 【大阪】 1 期日 令和5年9月12日(火) 午前6時～11時 2 場所 大阪中央卸売市場 3 内容 (1) 南水トップセールス (2) 南農ナシ6号お披露目会 (3) 南信州日本なし産地再生プロジェクト概要説明 4 県職員 2人 【のぼり旗追加製作】 1 内容 旗200枚、支柱140本 2 配布先 農産物直売所、道の駅、JAみなみ信州選果場、イベント(トップセールス・お披露目会、南信農業試験場一般公開)など。			
事業期間	令和5年5月		～	令和5年9月	

(単位:円)					
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	食べられマップ製作	A3・両面4色・コート90kg・四つ折り 1,500部	99,000	A3 4色 四つ折り 1,500部 × @60 × 消費税	
	ポスター製作	A1、片面4色、カラー刷り 600枚	99,550	1,000枚 × @90.5 × 消費税	
	東京・大阪卸売市場での日本なし(南水)トップセールスと新品種お披露目会	職員旅費4名 1泊	109,100	県規定により計算	
	のぼり旗の追加製作	旗200枚、支柱140本	198,440	200枚 × 715円 = 143,000円 140本 × 396円 = 55,440円	
合 計			506,090		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	参加店舗への満足度アンケート調査 高評価店舗数		8店	7店	一部達成
	メディア報道数 新聞、ラジオ、テレビ		6社	7社	
	新品種「南農ナン6号」アンケート 総合評価良いと回答した割合		50%	86%	
【実績】 ・参加店舗のアンケートでは、店舗が想像していたより売れた。お客様が日本なしの商品が珍しいと購入されたなどの声があった。 ・販売前と販売当初はメディアで報道されたため、来店客があったが販売期間後半は思ったほど客足がなかった。 ・新品種「南農ナン6号」の東京・大阪市場お披露目会は食味はアンケート回答者28人のうち、外観、甘み、酸味、果汁、シャリ感などを良い、やや良いと回答した者が24人であり好評であった。 【成果】 ・市場で初めてのお披露目会であり、買参人も含めた市場関係者に長野県の新品種をPRできた。 ・販売店から日本なしの生産者から産地のなしがクローズアップされてうれしいと言われたなど企画は好評であったと感じる。					
今後の方向性	・R6年度も引き続き、地域振興推進費を活用して参加店舗を拡大し、日本なしを活用した商品の企画・販売を実施予定。 ・短期大学生や高校生と菓子店がコラボした商品販売についても、連携を図れるよう、学校と打合せを行っている。 ・上記の取組みにより、日本なしの更なる魅力発信を強力に進めていく。				